



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

6 県（長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県）でケンサキイカ（地方名：マイカ、シロイカ）の情報（各地の漁況と底層水温）を共同発行しましたので、お知らせします。

I. 7月のイカ釣り漁況

◎各県の主要漁港における7月の水揚状況について（平年は直近の過去5年平均）。

鳥取県	主要漁港の水揚量は、前年と平年を上回りました（前年比160%、平年比112%）。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました（前年比110%、平年比82%）。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年と平年を下回りました（前年比53%、平年比44%）。
福岡県	代表港の水揚量は、前年並みで、平年を下回りました（前年比91%、平年比89%）。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年と平年を下回りました（前年比51%、平年比58%）。
長崎県	標本漁協の水揚量は、前年と平年を下回りました（前年比59%、平年比69%）。

※前年・平年比の評価は、90%以下では「下回る」、91%から109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています。

◎各県の「1日1隻当たりの漁獲量（CPUE）の月別動向」（鳥取県のみ漁獲量で表示）および「7月の漁獲サイズ」について

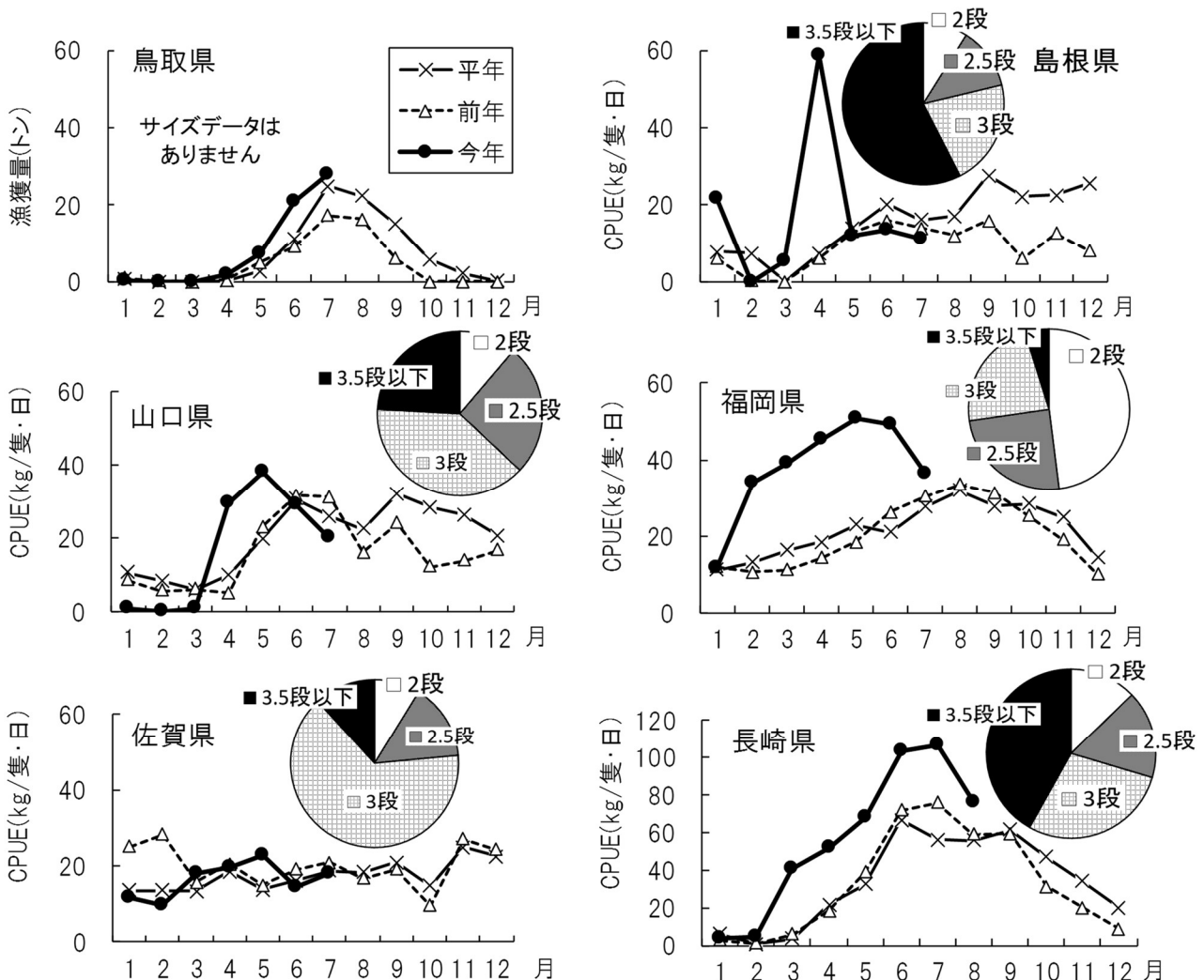


図1 各県の漁獲量またはCPUE（折れ線グラフ）および漁獲サイズの割合（円グラフ）

Ⅱ. 8月上旬の底層水温

鳥取県	陸棚域（水深 34～106 m）の底層水温は 14.8～22.3℃でした。
島根県	陸棚上（水深 85～142m）の底層水温は 8.4～17.9℃でした。
山口県	陸棚上（水深 62～135m）の底層水温は 6.1～21.9℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は 16～19℃台で、やや高め～かなり高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は 22.9～24.3℃、対馬東水道は 15.5～23.4℃で、平年値と比べ-0.1～3.7℃でした。
長崎県	五島西沖の底層水温は 15～20℃台で推移しました。

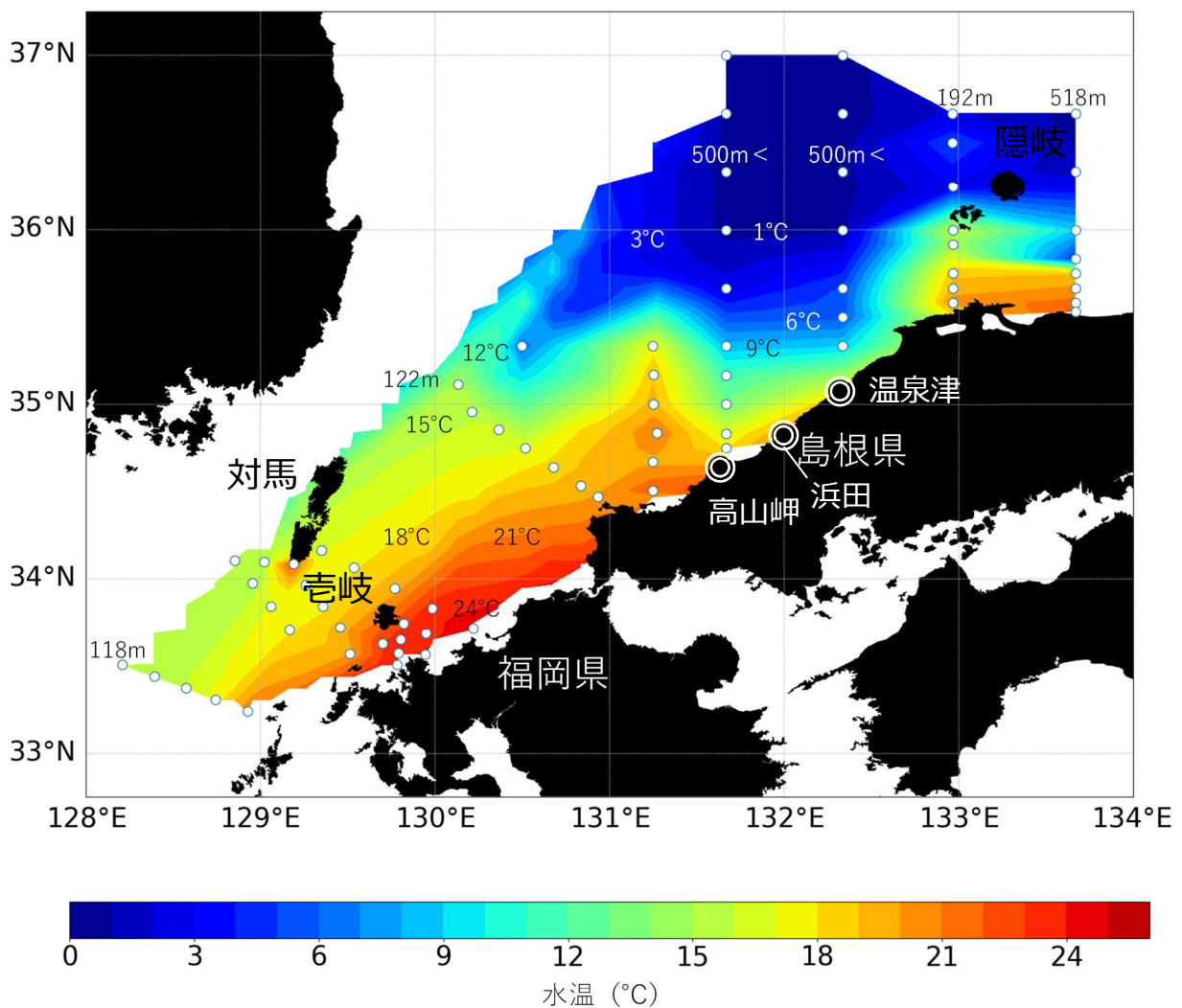


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図

図中の白丸（○）は観測点を、数字は水温もしくは水深を示しています。

※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。